

目 次

令和 7 年 6 月 2 0 日（金曜日）第 2 号

○招集年月日	-----	1 頁
○招集の場所	-----	1 頁
○開 議 日 時	-----	1 頁
○応 招 議 員	-----	1 頁
○不応招議員	-----	1 頁
○出 席 議 員	-----	1 頁
○欠 席 議 員	-----	1 頁
○地方自治法第 1 2 1 条の規定により説明のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○本会議に職務のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○議 事 日 程	-----	2 頁
○開 議 宣 告	-----	3 頁
○諸般の報告	-----	3 頁
○一 般 質 問	高橋議員 -----	3 頁
	・ 下水道管等の維持管理について	
	高森議員 -----	5 頁
	・ J R 二股駅廃止後の対応について	
	・ コンパクトシティ化の推進について	
	（発議第 1 号から発議第 4 号まで一括議題） -----	10 頁
○発議第 1 号	地方財政の充実・強化に関する意見書	
○発議第 2 号	北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設促進を求める意見書	
○発議第 3 号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の 充実・強化を求める意見書	
○発議第 4 号	安定的な地域医療の確保に向け公立病院等への財政支援を求める意見書	
○議員の派遣承認について	-----	10 頁
○所管事務等の調査及び閉会中の継続調査について	-----	10 頁
○閉 会 宣 言	-----	11 頁

令和7年第2回長万部町議会定例会（第2日目）

◎招集年月日 令和 7年 6月20日（金）

◎招集の場所 長万部町役場 議場

◎開 議 日 時 令和 7年 6月20日（金） 午前10時00分

◎応 招 議 員（9名）

1 番		6 番	高 森 功 治
2 番	橋 本 收 司	7 番	長 崎 厚
3 番	辻 紀 樹	8 番	高 橋 克 英
4 番	大 谷 敏 弥	9 番	村 川 毅
5 番	北 川 佳 嗣	10 番	柏 倉 恵里子

◎不応招議員 なし

◎出 席 議 員 応招議員に同じ

◎欠 席 議 員 不応招議員に同じ

◎地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	木 幡 正 志	水 道 ガ ス 課 長	田 中 俊 和
副 町 長	佐 藤 英 代	水 道 ガ ス 課 参 事	廣 田 栄
総 務 課 長	佐 藤 久	出 納 室 長	工 藤 貴 司
危 機 対 策 室 長	吉 田 泰 博	消 防 長	沼 田 明 宏
まちづくり推進課長	小山内 敏 洋	病 院 事 務 長	橋 本 啓 一
新 幹 線 推 進 課 長	岸 上 尚 生	病 院 参 事	加 藤 典 明
税 務 課 長	小 川 洋	教 育 長	近 藤 英 隆
町 民 課 長	増 田 理 恵	学 校 教 育 課 長	神 野 隆 之
保 健 福 祉 課 長	田 野 憲 哉	社 会 教 育 課 長	米 代 剛
産 業 振 興 課 長	田 中 浩	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 書 記 長	佐 藤 久
建 設 課 長	上 野 訓	監 査 事 務 局 長	佐々木 学
		農 業 委 員 会 事 務 局 長	田 中 浩

◎本会議に職務のため出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長	佐々木 学
議 会 事 務 局 主 査	本 前 武 広
議 事 係	川 村 界 斗

◎議事日程

- | | |
|-------|---|
| 日程第 1 | 一 般 質 問 |
| 日程第 2 | 発議第 1 号 地方財政の充実・強化に関する意見書 |
| 日程第 3 | 発議第 2 号 北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設促進を求める意見書 |
| 日程第 4 | 発議第 3 号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の
充実・強化を求める意見書 |
| 日程第 5 | 発議第 4 号 安定的な地域医療の確保に向け公立病院等への財政支援を求める意見書 |
| 日程第 6 | 議員の派遣承認について |
| 日程第 7 | 所管事務等の調査及び閉会中の継続調査について |
-

◎開議宣告

１０時００分 開会

○議長（柏倉恵里子） ただいまの出席議員は９名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

◎諸般の報告

○議長（柏倉恵里子） 諸般の報告を事務局長からいたします。

佐々木事務局長。

○議会事務局長（佐々木学） 諸般の報告をいたします。本日議題となります発議４件、及び議員の派遣承認についての議案、並びに各常任委員長及び議会運営委員長から所管事務等の調査及び閉会中の継続調査の申し出がありましたので、それぞれお手元に配付いたしました。以上であります。

○議長（柏倉恵里子） 以上で諸般の報告を終わります。

◎一般質問

○議長（柏倉恵里子） 日程第１、一般質問を行います。質問通告書は事前に配付しておりますが、質問者は２名、質問件数は３件となっております。

この際申し上げます。一般質問の質問時間は各議員４０分以内と決定しております。質問時間の終了３分前と、終了時にブザーを鳴らしますのであらかじめご承知おきください。

それでは順次質問を許します。

高橋議員。

〔議員（８番 高橋克英）登壇〕

○議員（８番 高橋克英） １問質問します。下水道管等の維持管理について。

今年１月に埼玉県八潮市で、下水道管の破損による道路の陥没があり、犠牲者が出るなど重大な事故が発生いたしました。いつどこで起こるかわからない道路の陥没の原因のひとつには、道路下埋設物の老朽化等があると思われます。

そこで、本町では人員不足や財政等の問題もあるとは思いますが、町民の生命と財産を守るとの観点から、下水道管の老朽化対策や道路陥没等の事故を防ぐための点検や補修の実施状況はどのようなになっているのか。

また、水道水について、災害が発生したときに備え、重要給水施設への給水を確保するため等、水道施設の耐震化等についても、あわせてお伺いいたします。以上です。

〔議員（８番 高橋克英）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

〔町長（木幡正志）登壇〕

○町長（木幡正志） お答えします。

はじめに、「下水道管の老朽化対策」についてであります。町内の污水管路は、主に昭和６０

年度から布設されており、古いもので布設後40年が経過しております。下水道管路施設は、一般的に耐用年数が布設後50年とされており、リスク評価を基に優先順位を設定し、計画的に改築更新をしております。

次に、「点検や補修の実施状況」であります。令和2年度からカメラを污水管路内に入れて、内部の損傷や接合部のズレ等を確認するため、污水管路カメラ調査業務を委託しており、予防保全のため、今後も継続して実施する予定であります。また、令和7年度からは污水管路維持管理業務を委託し、下水道管路、マンホール内部及びその周辺の点検調査を行っております。

次に、「水道施設の耐震化等」であります。重要給水施設及び施設に接続する上下水道管路等の耐震化実施を目標に、耐震化計画は策定済みであります。今後は、耐震化診断を行い、優先順位を設定後、計画的かつ効率的に施設及び管路の更新を実施してまいります。以上です。

〔町長（木幡正志）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 高橋議員。

○議員（8番 高橋克英） 何点か再質問させていただきます。まず下水道管について。污水管路カメラ調査業務委託を令和2年度から実施しているとのことですが、損傷等が確認されたことはありましたか。

○議長（柏倉恵里子） 田中水道ガス課長。

○水道ガス課長（田中俊和） お答えいたします。カメラ調査で損傷等は確認されておられません。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高橋議員。

○議員（8番 高橋克英） それでは、行政報告で記載のあった、污水管維持管理業務委託の内容と、実施箇所と、できれば実施する距離をお聞きしたい。

○議長（柏倉恵里子） 田中水道ガス課長。

○水道ガス課長（田中俊和） お答えいたします。委託内容は、下水道管路マンホール内部及びその周辺の点検調査を行っております。実施箇所と実施距離は、下水道処理区域内の下水道管路41キロと、マンホール1,005か所でございます。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高橋議員。

○議員（8番 高橋克英） 地域はわかりませんか。

○水道ガス課長（田中俊和） お答えいたします。下水道処理区域内ですので、主に字長万部となっております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高橋議員。

○議員（8番 高橋克英） この業務委託の財源というのは、国費なのか単費なのか。

○水道ガス課長（田中俊和） 業務委託は、財源は単費で行っております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高橋議員。

○議員（8番 高橋克英） それでは水道施設耐震化について若干触れさせていただきます。

水道の耐震化工事には、膨大な費用と時間がかかり、また、人的なコストも伴うと思います。厚生労働省から水道事業者に対し、技術的・財政的支援というのはあるものなのでしょうか。

○議長（柏倉恵里子） 田中水道ガス課長。

○水道ガス課長（田中俊和） お答えいたします。技術的な支援はありませんが、財政的支援は防災安全交付金や、水道施設整備補助金がありまして、補助率3分の1でございます。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高橋議員。

○議員（８番 高橋克英） よくわかりました。それでは耐震化計画は策定済みとのことですが、この耐震化計画に関しては全国の自治体、広域自治体を含めて３割にも満たないと聞いております。時間も費用もかかる中で、すでに策定済みのこと、しかも任意であるのに大変素晴らしいことだと思います。そこで、耐震化診断について具体的にいつ頃から実施するのか、また、どの地域から行うのか伺いたい。

○議長（柏倉恵里子） 田中水道ガス課長。

○水道ガス課長（田中俊和） お答えいたします。耐震化診断につきましては、令和７年度、今年度から長万部浄水場、送水ポンプ場及び１号配水池から実施しております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高橋議員。

○議員（８番 高橋克英） それでは、最後の質問とします。上下水道の機能を維持させることは、健康的な日常生活を送るために必須なものであります。実際に大きな被害をもたらす地震は日本各地で発生しております。能登半島の地震やこれまでの発生したほかの地震から活かせる教訓というものを得ていかなければならないと考えますが、上下水道の機能と維持について、その教訓、または課題をどのように捉えておりますか。お聞かせください。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） まず、上下水道。これライフライン一番大事な、生活するための要因なのさ。で、長万部って一番経験したのが南西沖地震ですよ。あのときに上下水道がやられて、ガスも含めて１５０人の応援いただいて復旧活動した。これが最大の長万部の大きな事故であった。

これ全部やるのに、大体町内で５０億くらいの、道路から何から５０億くらいかかってるんだけど、それ以来やっぱりライフラインというのは一番大事なものは上下水道だと。まず水がなかったらどうにもならん。南西沖のときには自衛隊さんが給水車を持ってきて、長万部町内に３日間応援に回ってくれた。その水のありがたさというのは十分にわかってるだけに、やっぱり上下水道の維持管理というのは率先して前向きにやらなきゃいけない。それはもう職員も全部対応してやってくれてますので、それには感謝しながら今後ともああいう大きな災害に向けて、しっかりと対応していく。

今特に新幹線関係で道路維持の関係も含めて、水道管であろうが下水道管の移設だったり、それから雨水対策で管を太くしたりということで、工事関係始まってますので、そういう点は管路の変更、維持管理の変更も今までやってきてる。これは将来に向けての大きな、それこそ維持管理のためのひとつの長万部の財産になるんでないかなという気はしてます。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 以上で高橋議員の質問を終わります。

高森議員。

〔議員（６番 高森功治）登壇〕

○議員（６番 高森功治） 私の質問は２点であります。ＪＲ二股駅廃止後の対応について。

先日、報道等によりＪＲ函館線の二股駅について、一日あたりの平均利用者が１人を下回っていると、ＪＲ北海道より存続が困難であると伝えられました。これを受けて、町では令和８年３月をめどに二股駅廃止の方向で進めると地域に説明がありました。

今後について、例えばＪＲを利用して通院などをしている方などに対し、町では具体的にどのような支援をするのか。また、個別に事案調査し、どのように対応していくのか、町長の所信を伺います。

２点目。コンパクトシティ化の推進について。

地域の人口が減っていく中で、持続可能な町を作っていくためには、一定の人口の集積が必要です。そのためには地区ごとに目標とする人口密度を設定し、公共施設や民間施設を誘導していくことが必要と考えます。

現状をどう評価し、総合戦略の期間でどのようにコンパクトシティ化を進めようとしているのか、町長の所信を伺います。以上です。

〔議員（6番 高森功治）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

〔町長（木幡正志）登壇〕

○町長（木幡正志） 2点でございます。ＪＲ二股駅廃止後の対応についてご回答申し上げます。

ＪＲ二股駅につきましては、昨年１２月に町に対して、極端に利用の少ない駅の見直しを進めている中、当駅が該当しており、存廃に係る具体的な内容協議の申し入れがＪＲ北海道からありました。

このことから、先月、双葉振興会館において「ＪＲ二股駅の存廃に関する説明会」を開催し、駅を存続させるためには、町が経費を負担し維持管理することが必要なことから、合わせて駅設備の老朽化など将来的な負担も見込まれることから、駅を存続させることは極めて困難であるということと説明させていただきました。

ご質問にありますように今後の支援策につきましては、説明会の中でも要望があったところであり、現在、双葉町内会の協力を仰ぎながら、当駅を利用して通院等をしている方を個別に調査をして、個々の事案を精査したうえで、具体的な対応を検討してまいります。

次に、コンパクトシティ化の推進についてであります。

はじめに、「現状の評価」についてであります。わが町は人口減少と高齢化が進行し、集落の分散や公共交通網の整備が課題となっております。そのために中心市街地への移住、駅前周辺整備による市街地の活性化、防災安全性の強化など、コンパクトシティ化による持続可能なまちづくりが必要と認識しているところであります。

次に、「総合戦略の期間でコンパクトシティ化をどう進めるか」であります。令和３年９月に策定した「長万部町立地適正化計画」を活用したいと考えております。この計画は、都市の持続可能性を高め、安全で効率的なまちづくりを目指し、災害リスク低減と都市機能の集約により、コンパクトで防災安全性に優れた市街地を形成することを目的とし、計画期間は令和３年から令和２２年の２０年間で、「都市機能誘導区域」「居住誘導区域」を設定し、「誘導施設」を指定して区域内への施設や居住を誘導するものであります。

この計画を基盤としつつ、さらに具体的な施策を展開するため、「第２期長万部町創生総合戦略」と連携を図ります。同戦略は、人口減少や高齢化に対応し、地域資源を活用した持続可能なまちづくりを推進し、住民の生活利便性を向上させることを目的とし、令和２年度から令和７年度の６年間で計画期間としております。

立地適正化計画とは、関連計画として連携する関係にあるため、総合戦略の各戦略や施策と協調し、区域内への施設や居住誘導を推進して、コンパクトシティ化を推進したいと考えているところであります。以上です。

〔町長（木幡正志）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） それでは何点か再質問させていただきます。

まずはじめに、双葉地区に今お住まいの方の人数をお聞きします。

○議長（柏倉恵里子） 小山内まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（小山内敏洋） ご質問にあります双葉地区の人口なんですけども、住民基本台帳に基づく5月30日現在の双葉地区の人口の内訳ですが、29世帯で、男18、女20。計38名となっております。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 今現在の、この双葉地区を通るバスの本数をお聞きします。

○議長（柏倉恵里子） 小山内まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（小山内敏洋） バスにつきましては、ニセコバスさんが路線バスとしてあります。現状は平日の1本で、11時台で往復で1本のみとなっております。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 仮に、町がこの二股駅を維持・管理していく場合の費用というのは、概算で出しておりますか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） おおよそ250万から300万。そういうふうな伝えをJRのほうからいただいております。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） なかなか1日、一人にも満たない乗降客でやっぱり300万円かけるというのは現実的な話ではないのかなと思うんですけども、通院をしている方もいらっしゃるんです。この方たちの対応というのは、基本的に早朝に車で迎えに行き、JRの長万部駅まで運んでくるという考え方でよろしいですか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 当日、1時間半くらい説明と質疑をやったんですけども、やっぱり一番肝心なのは、朝8時7分の函館行きの特急に乗る。そして眼科に3か月に1回通院している人がやっぱり心配をしてきた。どうしてくれるの？っていうことなんで、そこは今双葉町内会の会長さんを通じて、病院で通っている人が何人いて、何時で、車で行動しているのか、それともバスで行っているのか、それから列車で行ってるのかとか、今分析してもらってる。その上でやっぱり不便のないように、人の命だから、不便のないようにきちっとした対応を取るために、社協とも今協議をしながら、それに間に合うように、そして有効的な送迎をしてあげたい、その思いで今双葉の町内会の所に。まだ返事は帰ってきてない。帰ってきてないんで、そのあたりはちゃんと整理そして、決まってきたらまた皆さんにご報告を申し上げたいな、そう思ってます。

○議員（6番 高森功治） ぜひ今お住まいの方たちにご不便をかけないように、対応をしていてほしいと思います。

それでは2問目にいきたいと思います。コンパクトシティの質問なんですけれども、こういう質問というのは非常に多岐にわたる内容の質問となってしまいますので、今回は基本的な町の考え方を、確認を含めて質問をしたいと思っております。

3.11の東日本大震災から、日本の防災・減災の考え方は大きく変わったと思っております。そのような中で、長万部町のまちの中、市街地と言いますか、市街地は半分以上津波浸水区域でありますので、防災上の観点からも町の機能を高台に、徐々にではあると思いますが、都市機

能を移していくという考え方になろうかと思うんですけども、なろうかと思うというか、して行かなければならないというふうになると思ってるんですけども、町ではそのあたりはどのようにお考えしておりますか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 防災の観点っていうものが一番大事なところなんだよね。例えば本町だけがよければいいでなくて、静狩から国縫まで、この防災システムというのは本当に地域に多岐にわたって、どこでどういう防災の観点上の政策をしていくかということが肝心な所になるんですね。

ただ、今コンパクトシティという中の説明、質問の中で話をさせてもらうと、我々はコンパクトシティするのは賛成なんですよ。反対だと思ってない。ぜひやりたいと思ってる。だけど今とりかかっている新幹線関連で、本町の土地区画整理事業も抱えてる。そんな中でどうやってこの次はこのコンパクトシティに持っていくか。

さっきの、例えば双葉の人数を確認させたじゃないですか。もう60何人いたのが今ここまで減ってってる。今聞いてびっくりした。前は、去年60人くらいいたんですよ。けどもう20何人まで減ってってる。やっぱりそれは町がコンパクトにしていくひとつの経路になってる事例かもしれない。

だけどこれはやるとしたらもう今、事業全体で起こしたらライフラインの整備から何からやったら5～60億かかる。今土地区画整理事業やって、駅前開発やって、それをきちっと整理つけた段階で、今そっちの方に事業の中心移してるだけに、今そしたらすぐそこにコンパクトシティの構想に持っていけるかったらやっぱり財政的なもの考えたら、かなり厳しいんでないか。だから今駅前やるにしても、防災も考え、避難も考え、やっぱりそういった凄惨な事故が発生しないように、発生させないように努力しながら、やっぱりこう計画を進めていかなきゃない。

だからそういうこと考えると、今コンパクトシティ今取り上げていくというのはちょっと難しいかな。それと同時に計画のないものに質疑をするというのは厳しいよね。計画が、例えばコンパクトシティの計画があって、それを前面に出して、こういう形で進めていきたいという構想があって質問受けるんだったら細部にわたって答弁できるけど。今手持ちにない所にボカッと球投げられても受けるグローブがない。そのあたりのことを考えて、一般質問でこれ、私は討議すべき問題じゃないと思ってる。そのことを考えながらひとつ、ご理解していただければ。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 町長のおっしゃってることもよくわかるんですけども。答弁書の中段にもありますように、令和3年9月に策定した、長万部町立地適正化計画を活用していきたいとあります。この中で、戦略的土地利用ゾーンというのがございまして、いわゆる苗畑地区でございまして。そのあと令和5年12月の定例会において、字富野117番1の土地を約12万6,000平方メートル取得いたしました。令和3年9月の策定の時点では、ここは都市計画用途の区域や立地適正化計画の誘導地区には含まれていないんですけども、今後この苗畑地区というのは、町としてはどのようにお考えですか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 実は、苗畑の土地の購入にも理由があったんですよ。理由を付けなければ国有企業の土地の購入は難しいんです。苗畑を買うために営林局、営林署でどういう話をしたかったら、何か理由付けてくださいと。使用目的がなければ販売できないですよという話なんです

っよ。だから当面の課題としてこういうことを考えてるからこの用地が取得したいと。この用地の取得にも5～6年かかっている。なかなか前に進まない。最終的に買えたのが、そのひとつの形を出していただいて、もう5年経ってるんだからそろそろはじめ付けましょうかと。うちらも取得の価格の内容についてもこれを基準にして考えてくださいよ。これを。そうしないとうちらも自治体として取得するわけにいかないねという話で。そのときにこういう目的でってのが今言って説明させますけども、そういう目的をひとつ付けた。それがひとつの取得の理由になってるんです。それを理解してください。

○議長（柏倉恵里子） 岸上新幹線推進課長。

○新幹線推進課長（岸上尚生） 町長の答弁に引き続きということで、指示がございましたので。当該地区については議員おっしゃるとおり、都市計画の用途区域には入ってない地域。また、立地適正化計画の誘導区域にも入っていない状況でございます。議員おっしゃるとおり当該土地については令和5年度に国から一部を払い下げを受けているところと。また、都市計画マスタープランでは戦略的土地利用ゾーンとして、今後新幹線開業に向けた土地利用を検討していきたいとはしているところであります。現在新幹線が2038年度以降、さらにまたそれより遅れる可能性があって、現在開業時期が精査されてない状況でありますけれども、これは新幹線開業時期がはっきり定められて、その時点で必要に応じて都市計画や立地適正化計画などは、さらに見直しが必要かどうかの検討というのはその時点で進めていくことになるかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 今回この質問をしたのは、町長さっきおっしゃいましたけど、財政的にも厳しいという話はよくわかるんですけれども、20年間で施設・住居を誘導するとなっておりますけれども、まだ結構先の話なんで。これは長万部どころかこの国がどのような形になって、どんな政策を取ってるのかというのはわかりませんけれども、確実に言えることは、この役場庁舎も含めて、消防、小学校、中学校などの公共施設は老朽化するということは、これはもう間違いなく老朽化します。そしてそのときに、その時代の人統合して、例えばひとつの建物にしましうとか、小学校・中学校もひとつにしましうだとか、という考えは、その人達、その時代の人たちが考えればいいことなんですけども、そのときに、じゃあ場所どこにするという議論を私はしてほしくないというか、もうその場所を決めるのは今の時代の人たちが決めてあげるべきなんじゃないかなという思いでこの質問を、実はしたんですけれども、例えば苗畑地区をそういう地域にするということは、結構立派な道路も1本通さなきゃならないとか、そういう話にもなっていくと思いますし、消防も今の場所でいいのかとなったときには、やっぱり高台に持っていかなきゃならないという話にもなってくると思うんですね。その20年後30年後の人たちのために、土地だけでも今確保しておいてほしいなという思いで、今回この質問をいたしました。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 苗畑の土地に、今貸してある建物は2棟なるけども、そこは開発するつもりもないし、将来の残された長万部にとって最適地だということも考えながら、いずれ誘導できるようなことがあったら誘導させていくんだらうと思うし、それはやっぱり今使わせない努力、使わない努力をしながら、将来に向けた最終の長万部のそれこそ自由に使える町有地として残しておくということが大事なかなと思っております。

○議長（柏倉恵里子） 以上で高森議員の質問を終わります。
以上をもって一般質問は通告どおり全部終了いたしました。
これにて一般質問を終わります。

◎発議第 1 号 地方財政の充実・強化に関する意見書ないし

◎発議第 4 号 安定的な地域医療の確保に向け公立病院等への財政支援を求める意見書

○議長（柏倉恵里子） 日程第 2 ないし日程第 5、発議第 1 号地方財政の充実・強化に関する意見書、発議第 2 号北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設促進を求める意見書、発議第 3 号ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書、発議第 4 号安定的な地域医療の確保に向け公立病院等への財政支援を求める意見書。以上 4 件を会議規則第 37 条の規定により一括議題といたします。

お諮りいたします。発議第 1 号ないし発議第 4 号については、会議規則第 39 条第 3 項及び議会の運営に関する基準 65 の規定により、提出者の説明を省略し、合わせて質疑も省略したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。よって本案については提出者の説明を省略し、合わせて質疑も省略することに決定いたしました。

これより発議第 1 号ないし発議第 4 号を一括採決いたします。

お諮りいたします。発議第 1 号ないし発議第 4 号は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。よって発議第 1 号ないし発議第 4 号は原案のとおり可決されました。

◎議員の派遣承認について

○議長（柏倉恵里子） 日程第 6、議員の派遣承認についての件を議題といたします。

お諮りいたします。お手元に配付したとおり、議員の派遣を承認することにしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。よってお手元に配付したとおり、議員の派遣を承認することに決定いたしました。

◎所管事務等の調査及び閉会中の継続調査について

○議長（柏倉恵里子） 日程第 7、所管事務等の調査及び閉会中の継続調査についての件を議題といたします。

お手元に配付したとおり、各常任委員長及び議会運営委員長から特定の案件について閉会中に委員会活動を行いたいとの申し出がありました。

お諮りいたします。各常任委員長及び議会運営委員長から申し出のとおり、閉会中の活動を承認

することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。よって各常任委員長及び議会運営委員長からの申し出のとおり、閉会中の活動を承認することに決定いたしました。

以上をもって本定例会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

◎閉会宣言

○議長（柏倉恵里子） これにて令和7年第2回長万部町議会定例会を閉会いたします。どうもご苦勞様でした。

10時35分 閉会
